M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅳ

$M = 17.45 \times (q - p) + 0.39$

算式Ⅳの符号

［略］

q　令和 3 年から令和 5 年までの各年における自団体内就職者割合の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

N　次の算式Ⅴによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅴ

$N = 298.51 \times (s - r) + 8.28$

算式Ⅴの符号

［略］

s　令和 5 年 1 月 1 日現在、令和 6 年 1 月 1 日現在及び令和 7 年 1 月 1 日現在における年少者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

O　次の算式Ⅵによつて算定した数（当該数が 3 を超える場合には、3 とする。）

算式Ⅵ

$O = \{11.72 \times (u - t) + 1.05\} + (3.58 \times u - 3.99)$

$\{11.72 \times (u - t) + 1.05\}$ に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、0.5 に満たない場合には、0.5 とし、$(3.58 \times u - 3.99)$ に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、0.5 に満たない場合には、0.5 とする。

算式Ⅵの符号

［略］

u　人口動態統計における令和 3 年から令和 5 年までの各年における合計特殊出生率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

P　次の算式Ⅶによつて算定した数（当該数が 3 を超える場合には、3 とする。）

［略］

Q　次の算式Ⅷによつて算定した数（当該数が 3 を超える場合には、3

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅳ

$M = 19.34 \times (q - p) + 0.68$

算式Ⅳの符号

［同左］

q　令和 2 年から令和 4 年までの各年における自団体内就職者割合の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

N　次の算式Ⅴによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅴ

$N = 303.03 \times (s - r) + 7.76$

算式Ⅴの符号

［同左］

s　令和 4 年 1 月 1 日現在、令和 5 年 1 月 1 日現在及び令和 6 年 1 月 1 日現在における年少者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

O　次の算式Ⅵによつて算定した数（当該数が 3 を超える場合は 3 とする。）

算式Ⅵ

$O = \{12.09 \times (u - t) + 0.54\} + (4.42 \times u - 5.23)$

$\{12.09 \times (u - t) + 0.54\}$ に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、0.5 に満たない場合は 0.5 とし、$(4.42 \times u - 5.23)$ に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、0.5 に満たない場合は 0.5 とする。

算式Ⅵの符号

［同左］

u　人口動態統計における令和 2 年から令和 4 年までの各年における合計特殊出生率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

P　次の算式Ⅶによつて算定した数（当該数が 3 を超える場合は 3 とする。）

［同左］

Q　次の算式Ⅷによつて算定した数（当該数が 3 を超える場合は 3 とす